式典担当 次々退場

深まる混迷 〝祭典〟は不可能

1年延期を経て迎える東京五輪は、開幕目前となってコロナ禍以外の理由で混迷が深まっています。式典を担当するクリエーターの問題ある言動が次々と発覚。その対応で大会組織委員会は後手後手になりました。開催都市にとってショーケースでもある開会式の核は崩れ、もはや祭典とは言いがたい。

開会式のオープニング楽曲を制作した小山田圭吾氏は、以前に雑誌で語った障害を持つ同級生へのいじめ行為が批判を浴びて辞任。ショーディレクターの小林賢太郎氏は過去のホロコーストを揶揄（やゆ）する発言への批判が高まり、組織委が解任しました。去就を問われた橋本聖子会長は「責任は私にある」としつつ、辞任は否定しました。

問題となった言動は、いずれも20年以上前。武藤敏郎事務総長は「昔のことを調査するのは実際は困難」と理解を求めました。当人たちがどこまで責めを負うべきかはともかく、人選において組織委は危機管理の意識が欠けていました。

式典をめぐっては昨年12月に野村萬斎氏が統括を務めたチームが解散。新体制を率いた佐々木宏氏は、出演候補者だった女性タレントの容姿を侮辱する演出案を出したことなどで批判されて3月に辞任しました。

その後のチーム編成は現場に一任されていました。武藤事務総長は「われわれが一人一人を選んだわけではない」と言いますが、無関心なのも許されません。

大会組織委 対応も後手後手

水を差す出来事が相次ぎ、23日午後8時には国立競技場で開会式が始まります。橋本会長は「現段階で、開会式を見たくないと思っている方がたくさんいることは承知している」。そう言って、うつむきました。

小林賢太郎氏のパネル（手前右）を掲げて東京パラリンピック開閉会式出演者応募を呼び掛ける、当時クリエーティブディレクターを務めていた佐々木宏氏＝2019年12月9日、東京都中央区

小林賢太郎氏コメント「愚かな言葉選びを反省」

東京五輪開閉会式のショーディレクターを解任された小林賢太郎氏は22日、組織委を通じて以下のコメントを出しました。

◇

かつて私が書いたコントのセリフの中に、不適切な表現があったというご指摘をいただきました。確かにご指摘の通り、1998年に発売された若手芸人を紹介するビデオソフトの中で、私が書いたコントのセリフに極めて不謹慎な表現が含まれていました。

人を楽しませる仕事の自分が、人に不快な思いをさせることは、あってはならないことです。当時の自分の愚かな言葉選びが間違いだったということを理解し、反省しています。不快に思われた方々に、おわびを申し上げます。申し訳ありませんでした。

大会関係者950人入場へ　五輪開会式

国立競技場で23日夜に無観客で行われる東京五輪の開会式は、大会関係者約950人が入場する見通しになりました。大会組織委員会の高谷正哲スポークスパーソンが21日、明らかにしました。さらに少なくなる可能性もあるといいます。

海外からは、国際オリンピック委員会（IOC）委員や各国の要人、国際競技団体や国内オリンピック委員会、最高位スポンサーや放送権者の代表ら約800人。国内からは、政府、東京都、組織委の関係者に加え、スポンサーの代表ら約150人。

東京五輪は5者協議などで都と神奈川、千葉、埼玉の首都圏3県、北海道、福島県の全会場が無観客開催となりました。開会式も観客を入れずに開催することになりましたが、多くの大会関係者が入場することに批判が高まっていました。高谷氏は「関係者は観客ではなく、セレモニーに参加する」と述べました。

組織委〝15分特例〟撤回

東京五輪・パラリンピック組織委員会の岩下剛警備局長は22日、入国直後の五輪関係者に宿泊施設から15分以内の外出を認めた特例を撤回すると発表しました。新型コロナウイルス対策規則集のプレーブックが厳格に運用されていないとして、政府が組織委に是正を求めていました。

「15分外出特例」はプレーブックに記載がなく、宿泊施設で対象者に案内されていました。岩下氏は「誤解を与えかねないということで、全面的に見直す。外出は原則としてご遠慮いただく」と述べました。食料調達などは、宿泊施設に配置する監視員が対応します。

岩下氏はまた、プレーブック違反が既に多数報告されており、大会参加資格証の効力を1日停止した事案も数例あることを明らかにしました。違反数は公表していません。

東京五輪2020

サッカー　日本女子ドロー

サッカーは21日、女子1次リーグが始まり、国際連盟（FIFA）ランキング10位でE組の日本は、初戦で同8位のカナダと1―1で引き分けました。24日に英国、27日にチリと当たります。

日本は開始早々にクロスから崩されて失点。後半開始直後に田中（INAC神戸）がPKを失敗しましたが、終盤に岩渕（アーセナル）が同点ゴールを決めました。

同組の英国はチリに2―0で快勝。G組では、優勝候補の米国がスウェーデンに0―3で敗れる波乱がありました。F組の2試合はオランダ、ブラジルが勝ちました。

ソフトボール　日本サヨナラ

ソフトボールは22日、1次リーグ3試合が行われ、日本はメキシコに延長八回タイブレークの末、3―2でサヨナラ勝ちし、開幕2連勝としました。七回に1点差を追い付かれましたが、八回1死三塁から渥美が遊撃内野安打を放ちました。後藤（ともにトヨタ自動車）が同点の七回無死一、二塁から好救援しました。メキシコは2連敗。

米国はカナダを1―0で下して2連勝。カナダは1勝1敗。オーストラリアはイタリアを1―0で破って初白星。イタリアは2連敗となりました。

渡辺が首位発進

女子ゴルフ

女子ゴルフの大東建託・いい部屋ネット・レディース第1日は22日、北海道・滝のCC（パー72）で行われ、ツアー5勝目を目指す渡辺彩香が8バーディー、ボギーなしの64で回り、単独首位に立ちました。1打差の2位は全美貞（ジョン・ミジョン）＝韓国＝。さらに2打差の3位で宮里美香と藤田さいきが続きました。

賞金ランキングトップの小祝（こいわい）さくらは3アンダーで10位。前週優勝の若林舞衣子と渋野日向子は2アンダーの21位で発進。

全米オープンに大坂エントリー　テニス

【ニューヨーク＝時事】テニスの全米オープン（8月30日開幕、ニューヨーク）の主催者は21日、女子シングルスのエントリー選手を発表し、昨年の覇者で世界ランキング2位の大坂なおみ（日清食品）が名を連ねました。男子シングルスの錦織圭（日清食品）もエントリーしました。

大坂は5月に全仏オープンの2回戦を棄権した際、精神的な問題を抱えていたことを告白。四大大会のウィンブルドン選手権を欠場しましたが、東京五輪には出場を予定しています。

大坂は8月にカナダで開かれるナショナルバンク・オープンにもエントリーしています。

九州場所も観客50％に　大相撲

日本相撲協会は21日、秋場所（9月12日初日、東京・両国国技館）と九州場所（11月14日初日、福岡国際センター）の観客数の上限を発表しました。

秋場所は5000人、2年ぶりの開催となる九州場所は3700人とし、ともに収容人数の50％以内に収めます。

川崎が4回戦へ　サッカー全日本選手権

サッカーの第101回全日本選手権は21日、千葉市のフクダ電子アリーナで3回戦の1試合が行われ、連覇を狙う川崎（J1）は千葉（J2）を退け、4回戦へ進みました。1―1からの延長戦でも決着がつかず、PK戦を4―3で制しました。

J1……21日の記録

◇第21節第6日
▽ヨドコウ（4067人）
C大阪 25（0―2、3―1）3 F東京（勝点35、勝点35）
▽得点者【C】加藤③（46分）坂元④（57分）チアゴ②（74分）【F】レアンドロ③④（13分、82分）ディエゴオリベイラ⑨（39分）
◇第22節第4日
▽バンスタ（4998人）
神戸（勝点41）2（2―1、0―0）1 G大阪（勝点17）
▽得点者【神】ドウグラス⑤（27分）田中①（31分）【G】パトリック④（19分）

サッカー男子南ア戦 予定通り実施

鼓動

サッカー男子1次リーグA組の日本―南アフリカ戦は22日、南アフリカ代表に感染者が出るなか、予定通り行われました。

南アフリカは18日、選手2人、スタッフ1人の陽性が判明。これは選手村に滞在している選手で初の感染例でした。その後、同代表の選手ら18人が濃厚接触者となりました。ところが、大会組織委員会は試合開始6時間前の検査で陰性なら出場を可能とするルールを定め、試合を実施しました。

南アフリカ代表は19日から練習を再開しました。しかし、ノトアン監督は試合前の会見で「とても厳しい状況。これはサッカー以上のものになる。われわれは物理的に不利な状況に置かれているからだ」と話していました。直前に追加招集された選手を除くと、万全の状態で臨めるフィールド選手は12人しかいないといいます。

公平な競技環境 既に崩れる

コロナ感染によって、たたかう条件が変わってしまう。フェアな競技大会の前提は早くも崩れました。

濃厚接触者の出場可否について、組織委が決めたルールにも懸念が残ります。新型コロナは当初から潜伏期間の長さと無症状感染が指摘されています。これまで比較的感染を抑え込んできた国内のプロ野球やサッカーのJリーグでは、濃厚接触者は出場できません。

組織委が陽性となった選手や関係者の国名などを非公表としていることも問題です。感染者や濃厚接触者の情報は対戦相手にも知らせません。今回、南アフリカ選手の感染が発覚したのも同代表の発表がきっかけでした。これがなければ、日本代表は対戦相手に濃厚接触者がいることを知らずに試合に臨んでいた可能性もあります。

感染のリスクを選手に負わせるようなやり方は〝安心安全な大会〟とはいえません。

（宮井貴光）

夏の甲子園は一般入場なし　高野連

日本高校野球連盟は21日、今夏の第103回全国選手権大会（8月9日開幕、甲子園球場）の臨時運営委員会を開き、一般向けへの入場券販売は行わず、学校関係者に限定して一、三塁内野席に入場させることを決めました。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しました。

感染防止で間隔を空ける必要があり、一、三塁それぞれの席数は2000強になる見込み。今春の選抜大会では1試合の上限を1万人とし、窓口での対面業務を避け、ウェブで一般販売していました。

選手らチーム関係者には、大会前と大会中（初戦勝利後、準々決勝後）にPCR検査を実施。感染防止ガイドラインを作成して代表校に配布します。

組み合わせ抽選会は8月3日午後4時から、オンラインで行います。

星稜で集団感染　石川大会を辞退

石川県高校野球連盟は21日、星稜が第103回全国選手権石川大会への出場を辞退したと発表しました。県などによると、野球部内で新型コロナウイルスのクラスター（感染者集団）が発生しました。シード校の同校は3大会連続の夏の甲子園出場を目指し、22日に準々決勝に臨む予定でしたが、相手の遊学館が不戦勝となります。

星稜は過去に夏の選手権大会に20度、春の選抜大会にも14度出場した強豪。夏は1995年と、奥川恭伸投手（現ヤクルト）を擁した2019年に準優勝しました。プロ野球の巨人や米大リーグのヤンキースなどで活躍した松井秀喜さんら、プロ野球界に多くの選手を送り出しています。

鍋谷正二校長は「一丸となって日々鍛錬を続けていた姿を見てきた私たちには苦渋の決断。感染拡大防止対策に一層努め、罹患（りかん）が判明した方々の一刻も早い回復を願う」などとするコメントを出しました。

きょうのスポーツ

◆ゴルフ＝大東建託・いい部屋ネット・レディース第2日（7時、北海道・滝のCC）◆プロボクシング＝世界ボクシング機構（WBO）アジア・パシフィック・ライトフライ級タイトル戦　加納陸（大成）×栄拓海（折尾）、WBOアジア・パシフィック・ミドル級タイトル戦　野中悠樹（渥美）×越川孝紀（一力）ほか（12時30分、エディオンアリーナ大阪第2競技場）

新日本スポーツ連盟理事長代理　青沼　裕之

スポーツサイト

資本の論理 とらわれたまま

■ 新しい「五輪改革指針」 ■

国際オリンピック委員会（IOC）は今年3月、総会で五輪改革指針「アジェンダ2020＋5」を採択しました。

新型コロナ感染症拡大のもとで開催される東京五輪の準備過程で、現在オリンピック運動が抱える問題点が国民の前に露呈。その解決のために15項目の提言からなる「アジェンダ2020＋5」をまとめたのです。

IOCは世界の「連帯」を深めるために「卓越性」「尊重」「友情」という五輪の価値を重視しています。提言はこうした理念を実現するための施策であると言えます。

前文は「困難を機会に変える」ために「連帯」「デジタル化」「持続可能な開発」「信頼性」「経済的・財政的レジリエンス（回復力）」の達成を目指すとしています。理念は立派ですが全体を読むと、その実現の方法に現在のIOCが抱える問題点が浮かび上がってきます。

提言1には「オリンピック競技大会が最も優れた選手を引き付ける場であり続けることが不可欠」と書かれています。これは「観客を引き付けるため」だと率直に説明されています。提言4の「最も優れた選手を引き寄せ続ける」も同趣旨です。何が何でも五輪が一番でなければならないという考え方や、集客力を今以上に高めようという算段が見え隠れします。

これが、ばく大な資金が動き利権の渦巻く現在の五輪ビジネスを生んでいるのです。

提言2の「持続可能なオリンピック競技大会の促進」が目下オリンピック運動を進める上で重要な点であり、新設会場ではなく仮設施設の利用、開催都市以外での競技開催、経済的観点からの持続可能性等の提案は評価できます。ただし、提言15の新たな収入創出モデルの導入とセットになっていることは問題です。スポンサー企業や既存の放送局からの収入だけでなくデジタル関連の収入源を増やすとしており、大会の簡素化は真剣に検討されていません。

提言3では、選手育成、コーチやスポーツ実務者のトレーニングを推進するための計画（2021～24年）で選手育成予算を25％増額するとしています。これも民間大企業からの収入を当て込んだものです。背景説明に「商業的・財政的モデルの見直しを求める声と選手からの抗議の増加」と記されていますが、前者への回答はないのです。

総じて提言には、五輪が最高のイベントでなければならないという考え方のもとに、資本の論理にとらわれていることがはっきり表れています。大会のあり方に問題を感じていることは認められますが、これで改革が進むのかは疑問です。

今 歌いたい 広げたい 平和・未来への希望

CD 子どもの大空

singing for our lives

～台湾で脱原発を決意させた母親の運動から生まれた曲 日本語版初収録～

表紙絵：ゲレーロ・AG・サニョ（フィリピン）
2019年原水爆禁止国民平和大行進
国際青年リレー行進者。
気候変動防止を訴える活動に参加。
FFF（Fridays For Future）のメッセージの一つ「気温上昇を1.5℃未満に抑えること」が絵の中に表現されています。

うた
大熊啓
植田あゆみ（women of the world）
大熊志保
おひさま合唱団

収録曲
1 おひさま －Oh The Sun is Here－
2 約束のうた
3 おまわりさんのしごと
4 見上げた空から
5 ポートラジウム物語
6 雲に人間を殺させるな
7 花は咲けども
8 子どもの大空
9 歩いて行こう
10 冗談じゃない税
11 これが自由というものか
12 いのちをうたおう －singing for our lives－

商品番号：CCD949
定価　本体価格　2,315円＋税

株式会社 音楽センター／〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36　TEL：03（3200）0101／FAX：03（3200）0104　http://www.ongakucenter.co.jp/　E-mail:info@ongakucenter.co.jp